

ガイドライン内 事前協議チェックリスト (南花畑五丁目地区)

20230227

Ver.B.1

【様式B】

記入日	
計画名	

項目		配慮した内容	図面番号	照 合	
地域の拠点となる広場と歩行者ネットワークでつながるまちづくり	広場空間	周辺の居住エリアや地区内の公共公益施設等からのアクセスのしやすさを確保		<input type="checkbox"/>	
		主要な歩行者ネットワーク沿いや区立公園に隣接した場所に、まとまった規模の広場空間を分散して配置		<input type="checkbox"/>	
		広場や歩行者ネットワーク沿いにはベンチなどなどのストリートファニチャーによる休憩スペースを設置		<input type="checkbox"/>	
		地区内や周辺地域の住民が地域の活動や交流の場として活用できるよう整備		<input type="checkbox"/>	
		西側広場は、散策や交流の場として、人々が行き交う場所となるよう整備		<input type="checkbox"/>	
		東側広場は、南花畑公園や生産緑地との連続性を踏まえ、生物多様性に配慮した中高木による緑を連続させ、その緑陰で日常的にくつろいで過ごせる場所となるよう整備		<input type="checkbox"/>	
		中央広場は、主要な歩行者ネットワークの交差点に配置し、地域の活動や子ども達が遊べる場所、休憩スペースを設けるなど、多世代が交流でき、地域の拠点となる場所として整備		<input type="checkbox"/>	
		災害時には、地区内外の住民の主たる避難場所としての活用		<input type="checkbox"/>	
	歩行者ネットワーク		地域の連携を深める歩行者ネットワークの形成		<input type="checkbox"/>
			地区内外の住民の利便性が向上し、誰もが気兼ねなく、スムーズに通行できるような歩行者ネットワークの形成		<input type="checkbox"/>
			主要な歩行者ネットワークには、歩道や歩道状空地等の整備により、歩車道を分離		<input type="checkbox"/>
			主要な歩行者ネットワークのコーナ一部分は、歩行者の安全性、車両交通の円滑性に配慮するために、見通しを確保		<input type="checkbox"/>
			主要な歩行者ネットワーク沿いは、防犯性に配慮するために、見通しが確保できるような樹種の選定や適切な照明等の整備		<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>

緑でつくる良好な住環境の継承と拡充による景観形成	緑のネットワーク	地区外の緑道等との連携が感じられるように、地区中央を東西・南北に貫通する歩行者ネットワーク沿いを中心に厚みのある緑化を創出			<input type="checkbox"/>
		周辺公園、生産緑地、周辺街路樹は生物多様性にも配慮した、連続した緑でつなぐ緑のネットワークで連携させ、緑豊かな自然環境を拡充・整備			<input type="checkbox"/>
	緑環境の保全と拡充	本地区を特徴づけるような緑豊かな自然環境の形成			<input type="checkbox"/>
		四季を楽しめる、魅力的な空間の形成			<input type="checkbox"/>
		新植する樹木を中心にした緑環境の形成			<input type="checkbox"/>
		地区内外の公園、周辺の緑道、街路樹等の周辺環境との調和をふまえ、地域で親しまれている既存樹や地域の在来種などからの樹種の選定			<input type="checkbox"/>
		地区中央を東西に貫通する歩行者ネットワーク沿いや地区の東側の地域のシンボルとなる既存の中高木のうちの良好な樹木の保存・活用			<input type="checkbox"/>
		本地区を特徴づけるハナミズキなどの地域で親しまれている既存樹のうちの良好な樹木の保存・活用			<input type="checkbox"/>
		管理面・防犯面に配慮の上、高木・中木・低木等をバランスよく配置			<input type="checkbox"/>
		避難場所であるため防火性の高い樹種の選定等樹木による地域の安全性向上を推進			<input type="checkbox"/>
地域と調和のとれた、ゆとりある建物配置による景観	建物配置・高さ	適度に変化があり、ゆとりある建物配置により、周辺地域から変化を感じられ、調和のとれた景観の形成			<input type="checkbox"/>
		南側から北側へ、中央部から東西へ建物高さを低くすることで、周辺からの変化が感じられ、圧迫感を緩和			<input type="checkbox"/>
	開放感のある空間づくり	地区外周部の歩行者空間沿いは、建物の壁面後退等による開放的な空間や緑のネットワークを活かした緑化により、開放感があり、周辺環境と調和のとれた空間の創出			<input type="checkbox"/>
		地区内通路沿いも、建物の壁面後退等により生まれた空間にボリュームのある緑を設けることによる、緑を感じながら快適に歩ける魅力ある空間の創出			<input type="checkbox"/>
ユニバーサルデザインの導入		団地住棟や施設は、障がい者、高齢者等に配慮した、思いやりのある、誰もが使いやすいデザインと設え			<input type="checkbox"/>

屋外施設 (駐車場・駐 輪場・ごみ置 き場等)		駐車場等の屋外施設は、道路や広場からの見え方や防犯に配慮		<input type="checkbox"/>
		駐車場は、生垣、植栽柵で死角をつくらず、見え方に配慮		<input type="checkbox"/>
		駐輪場は、足元に低木を設けて緑化する等、景観に配慮		<input type="checkbox"/>
		ごみ置き場は、緑化による目隠しや建物と一体感のあるデザインとし、景観に配慮		<input type="checkbox"/>
		屋外灯は、必要な照度が確保できるよう、バランス良く配置		<input type="checkbox"/>
		案内板等は、景観に変化を与えるデザインとするとともに、周囲の建物との調和に配慮		<input type="checkbox"/>
		緑のネットワーク沿いは、ベンチ等を配置し休憩空間の形成に配慮するとともに、特徴的な樹木に樹名板を設置し、親しまれる空間づくり		<input type="checkbox"/>
舗装		通路や歩道状空地の舗装は透水性素材を採用するなど環境に配慮		<input type="checkbox"/>
		街角や車の導入口は視認性を高める工夫		<input type="checkbox"/>
		ユニバーサルデザインに配慮した舗装材料		<input type="checkbox"/>
屋外広告物	都営住宅	原則、屋外広告物を設置せず、案内板等は景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮		<input type="checkbox"/>
		公共 公益施設	広場や住宅に面して屋外広告物を設置する際は、景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮	
	屋外広告物は、著しく圧迫感を与える大きさを避け、周辺とのスカイラインの調和に配慮した高さ			<input type="checkbox"/>
	壁面広告物は、建物壁面とのバランスを考慮した大きさとし、正面デザインを乱さないよう配置・形状に配慮			<input type="checkbox"/>
	突出広告物は、沿道景観を乱さないよう形状を揃え、壁面線に沿って規則正しい配列となるよう配慮			<input type="checkbox"/>
	環境や災害対策に配慮した 取組み		地震・水害時に備え、住棟には、防災備蓄倉庫を1階だけでなく上階にも設置	
		雨水浸透施設や雨水貯留施設の設置、透水性舗装の採用、敷地内の緑化等、自然環境を保全、再生する取組みに努力		<input type="checkbox"/>
		省エネルギー化の推進や自然エネルギーの活用等に配慮		<input type="checkbox"/>
		コンクリートの再生砕石の利用等、リサイクル材の活用や廃棄物の削減等に配慮		<input type="checkbox"/>

照明計画	団地内屋外灯	夜間の安全性・安心感を確保した照明計画		<input type="checkbox"/>
		暗がりを排除するとともに、色温度の低い照明を使用し、暖かみがあり落ち着きを感じる快適な住環境形成に配慮		<input type="checkbox"/>
		主要生活道路沿いや団地内通路沿いを明るく照らし、沿道側・住棟前は近隣や住戸への光害に配慮		<input type="checkbox"/>
		附属建物からの照明を考慮した適切な配置		<input type="checkbox"/>
		主要生活道路などから分岐する箇所に照明を配置し、住棟への分岐から各住棟へのエントランスまで誘導		<input type="checkbox"/>
色彩	都営住宅	ベースカラーは、YR系の高明度・低彩度のベージュ色を使用		<input type="checkbox"/>
		サブベースカラーは、YR系の中明度・中彩度色を使用		<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーは、サブベースカラーより高明度、高彩度の色相		<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーは、建物エントランスや低層部、街角等のアイストップ、工作物のサインに効果的に使用		<input type="checkbox"/>
	公共公益施設	建物規模に応じ足立区景観計画における「色彩基準Ⅰ～Ⅱ」を遵守		<input type="checkbox"/>
		強調色として原色に近い高明度、高彩度の色を用いる場合は、区道に面する箇所以外には未使用		<input type="checkbox"/>

(注) 太枠内のみ記入すること。
 なお、ここに記載がない事項についてはガイドラインに沿って十分配慮すること。